

# 試験結果報告書

株式会社 シンマテリアル 殿

遮熱・断熱塗料『キルコート』について、「引っ張り強さ」「断裂時伸び率」の2点をJIS規格に基づいて、試験・調査を実施。

試験・調査結果については、下記記載内容を御参照のこと。

品名	キルコート	試験機関	日本大学生産工学部 川岸研究室																								
製造者	株式会社シンマテリアル																										
試験項目	・引っ張り強さ試験 ・断裂時伸び率調査	規格	JIS K 6251 に準拠																								
試験結果																											
1. 「引っ張り強さ」試験																											
JIS K 6251を用い引っ張り強さを求めた。																											
(1) 試験体作製																											
JIS K 6251に規定されるダンベル3号型試験片に押し抜き加工した。																											
試験片は、表面に対し縦方向と横方向にそれぞれ5体とした。																											
(2) 実験方法																											
10mm/minで引張試験を行った。なお、試験体の伸び率を10秒毎にノギスで測定を行った。																											
<table border="1"><thead><tr><th>試験体名</th><th>タテ1</th><th>タテ2</th><th>タテ3</th><th>タテ4</th><th>平均</th></tr></thead><tbody><tr><td>初期断面面積(mm<sup>2</sup>)</td><td>2.00</td><td>1.75</td><td>2.00</td><td>1.75</td><td>1.88</td></tr><tr><td>最大引張力(N)</td><td>20.6</td><td>21.6</td><td>20.0</td><td>20.2</td><td>20.60</td></tr><tr><td>引張強さ(Mpa)</td><td>10.300</td><td>12.343</td><td>10.000</td><td>11.543</td><td>11.046</td></tr></tbody></table>				試験体名	タテ1	タテ2	タテ3	タテ4	平均	初期断面面積(mm <sup>2</sup> )	2.00	1.75	2.00	1.75	1.88	最大引張力(N)	20.6	21.6	20.0	20.2	20.60	引張強さ(Mpa)	10.300	12.343	10.000	11.543	11.046
試験体名	タテ1	タテ2	タテ3	タテ4	平均																						
初期断面面積(mm <sup>2</sup> )	2.00	1.75	2.00	1.75	1.88																						
最大引張力(N)	20.6	21.6	20.0	20.2	20.60																						
引張強さ(Mpa)	10.300	12.343	10.000	11.543	11.046																						
2. 「断裂時伸び率」調査																											
JIS K 6251を用い断裂時伸び率を求めた。																											
(1) 試験体作製																											
JIS K 6251に規定されるダンベル3号型試験片に押し抜き加工した。																											
試験片は、表面に対し縦方向と横方向にそれぞれ5体とした。																											
(2) 実験方法																											
10mm/minで引張試験を行った。なお、試験体の伸び率を10秒毎にノギスで測定を行った。																											
<table border="1"><thead><tr><th>試験体名</th><th>タテ1</th><th>タテ2</th><th>タテ3</th><th>タテ4</th><th>平均</th></tr></thead><tbody><tr><td>標線間距離(mm)</td><td>20</td><td>20</td><td>20</td><td>20</td><td>20</td></tr><tr><td>断裂時標線間距離(mm)</td><td>74</td><td>69</td><td>67</td><td>71</td><td>70.25</td></tr><tr><td>伸び率(%)</td><td>270</td><td>245</td><td>235</td><td>255</td><td>251.25</td></tr></tbody></table>				試験体名	タテ1	タテ2	タテ3	タテ4	平均	標線間距離(mm)	20	20	20	20	20	断裂時標線間距離(mm)	74	69	67	71	70.25	伸び率(%)	270	245	235	255	251.25
試験体名	タテ1	タテ2	タテ3	タテ4	平均																						
標線間距離(mm)	20	20	20	20	20																						
断裂時標線間距離(mm)	74	69	67	71	70.25																						
伸び率(%)	270	245	235	255	251.25																						

報告日： 平成 24 年 3 月 27 日

報告内容： 上記の通り、相違ありません

試験機関： 日本大学生産工学部  
創生デザイン学科・建築工学科

責任者：



